



[医療法人溪仁会 西円山病院 広報誌]

にしまるやま通信

NISHIMA YAMA TSUSHIN NISHIMARUYAMA SHIN NISHIMARUYAMA SHIN NISHIMARUYAMA SHIN NISHIMARUYAMA SHIN



NO.47 2007年
9、10月号

敬老会

9月17日に敬老会が開催されました。今年は午前中に「岩瀬フラダンスグループ」によるハワイアンダンスが行なわれました。初めてハワイアンダンスをご覧になる患者様も多く、異国情緒漂う雰囲気の中、素敵な踊りを楽しむことが出来ました。

作品展示コーナーでは患者様が作られた手芸・陶芸・書道・生け花の作品が展示され、屋上ではとうきび・焼きそば・アイスクリーム等が販売されました。

また、長寿者のお祝い、患者様による詩吟の発表、大抽選会などが行なわれ大勢の患者様、ご家族様に参加して頂き賑わいを見せていました。



- 敬老会
- 終末期ワーキンググループ
- よく聴く環境用語
- にこにこコラム
- 編集後記

** 西円山病院 外来のご案内 **

■診療科目	内科・循環器科・リハビリテーション科・神経内科・歯科
■診療	午前9:00～12:00 午後2:00～4:00
■休診	土曜日・日曜日・祝日

終末期医療という言葉ご存知ですか？

皆様は、「自分の最期をこのように迎えたい」—例えば、どこでどんな風に、誰と一緒に迎えたいか—などをお考えになったことはありますか？

2005年度のデータでは「最期を迎える場所が病院や診療所」という方が約82%になるそうです。時代の変遷のなかで、終末期医療については何度か議論がされてきましたが、最近の世の中の動きとしてはすでに報道されている通り、2007年5月に厚生労働省から「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」が公表されました。おおまかな項目は下にある通りです。(詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧くださいか、病棟の担当ソーシャルワーカーまでお尋ねください)

〈終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン〉

1. 終末期医療及びケアのあり方
2. 終末期医療及びケア方針の決定手続
 - (1) 患者の意思の確認ができる場合
 - (2) 患者の意思の確認ができない場合
 - (3) 複数の専門家からなる委員会の設置

当院では、入院患者様の平均年齢がおよそ82歳と高齢者が多いという特徴もあり、終末期医療の共通認識をもちましようということで、2004年11月から終末期医療ワーキンググループが発足いたしました。メンバーは医師や看護師をはじめ、リハビリ療養士、薬剤師、栄養士、MSW、医事課スタッフなど様々な職種で構成されています。

終末期医療ワーキンググループでは、当院における終末期医療の実態調査やご家族の終末期医療に関する考え方のアンケート調査、症例検討会、「経口摂取が困難となってきたときに・・・」というパンフレットの作成などをおこなってきました。現在は、西円山病院の終末期医療のガイドラインについて検討中です。また今後は、患者様やご家族の意向を文書にまとめることが必要になってきます。

当院としましては、最期までその人らしい生活が送れるように、医師・看護師などの医療スタッフも一緒に相談していきたいと思っています。



夏まつり～盆踊り大会～



8月17日午後、連日続いてきた30℃以上の猛暑から一変し、空は厚い雲に覆われ、気温は25℃の中、屋上にて恒例の夏祭りが開催されました。朝から霧雨も降り、心配しながらの準備でしたが、晴れ男・晴れ女パワーで何とか雨に当たらず、楽しんで頂くことができました。

今年は職員が半被と浴衣を

着て、屋台ではかき氷、綿あめその他、新たに水ようかんとあんみつが配られました。そしてゲームコーナーではヨーヨー釣り、景品付きの的あてとビンゴゲームを楽しむ患者様の笑顔をたくさん見ることができました。

もちろんメインの盆踊りでは、患者様やご家族がボランティアさん、職員と一緒に北海盆唄



と炭坑節の音楽と太鼓に合わせて、櫓を囲んで踊りました。中にはおいしそうに食べ物をほお張りながら楽しんで踊っている方もいました。

晴天とはいきませんでした。お子さんも多く来院し予想を上回る参加人数となり、賑わいを見せました。院内テレビで生中継され、屋上に来られない方は、病室でご覧になることもできました。

“よく聴く環境用語” ～貴方は知っていますか？～

地球温暖化が進む中、環境用語を最近よく耳にしますが、「知っているようで、分からない」言葉ってないですか？中には、今更、そんな事聞けないしと思っている方のために、今回は、環境用語を特集してみましたので、皆さん、ご参照下さい。

- 温暖化ガス (温室効果ガス)**

地球は太陽から日射を受ける一方、地表面から赤外線を放射している。大気中に赤外線を吸収する気体があると、地表は日射による加温以上に暖まり、「温室効果」がもたらされる。赤外線を吸収する気体を温室効果ガスと呼び、CO₂(二酸化炭素)、メタン、亜酸化窒素、フロン、代替フロンなどがある。
- オゾン層破壊**

フロン類は極めて安定な物質であり、対流圏に蓄積された後に、成層圏に拡散して行き、成層圏で強い太陽紫外線により分解され塩素原子を生成する。この塩素原子がオゾンと反応し、これを破壊する。
- エルニーニョ (神の子) 現象**

南米エクアドルからペルー沿岸に起こる海水温の上昇現象で、通常よりも水温が異常に上昇し、水温の上昇海域がペルー沿岸だけでなく、日付変更線付近まで数千km以上広がった現象。
- ヒートアイランド現象**

都市独特の局地的気候。経済の発展につれて人口が都市に集中し、大気を冷やす働きをする森林や畑をつぶただけでなく家、ビル、工場、高速道路を建設し、大量の人工熱、放射熱と大気汚染物質を放出したため、最低気温が下がらなくなった現象。月平均気温は周辺よりも1～4℃高く、都心になるほど気温が高く、等高線が島のような形になるためヒートアイランドと呼ばれている。
- バイオハザードマーク**

感染性廃棄物であることを識別できるようにするための表示マークであり、マークの色は次の意味を持つ。
 - 赤: 液状または泥状のもの(血液等)
 - 橙: 固形状のもの(血液等が付着したガーゼ等)
 - 黄: 鋭利なもの(注射針等)

以上

にこにこコラム



秋の素敵なところは、街がホクホクした栗やさつま芋のお菓子に彩られるところですよね♪振り返ると、今夏の思い出は海へ行った事です。目的はひたすらバーベキュー！！周囲の若者が食休みしているのを尻目に日没まで食べ続けました。唯一したのは馬とび(小学生以来?)と山崩しの罰ゲームの“でんぐり返し”。ちなみにメンバーは女性4人。これって今流行りの干物女！？そんな事を思い出しながら、四季の移り変わりの早さに驚く毎日です。



編集後記

9/1、晴天の下、院内ソフトボール大会が開催されました。今年は11チームが参加し、業務終了後に練習を行ったり、ユニホームを揃えたりと団結力あるチームばかりで各試合共、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。その中で見事優勝を果たしたのは「6A&リハビリコミュニケーションズ」！賞金¥?を手にしたのでした(^ ^)

すべての
お問い合わせは

郵便

〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
西円山病院 医療福祉課内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい!

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

● 無料送迎バスのご案内 ●

(平成19年8月)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
地下鉄駅発	55	35	15	10	30	10	30		*00	*45	*15	*15	*30	*35
				50					*40		*45	*45		
西円山病院発		15	50	30	10		10	40	20	30	00	00	05	25
		55			50						30	30	45	

※のバスは地下鉄円山公園駅⑤番出口出発、その他はすべて①番出口となります。